

会期中の併催イベント

会長講演・表彰式

日時：3月17日(日) 15時～17時10分
会場：S9会場(甲友会館1階大ホール)

プログラム

15:00- 会長講演(2018, 2019年度会長)川合 真紀
『分野融合・異分野協力で化学に新たな感性を一世界の化学を
目指して』
15:40- 表彰式

市民公開講座 身近なすごい科学 ～心とからだの豊かさを求めて～

主催：日本化学会 第99春季年会実行委員会
日時：3月16日(土) 13時25分～17時
会場：S4会場(5号館1階511教室)

春季年会実行委員会では、一般市民の方々を対象とする恒例の「市民公開講座」を下記の内容で企画いたしました。今回も市民の方々の生活に密接に関連した身近な話題を、専門の先生方にやさしくお話していただきます。どの先生もそれぞれの分野でご活躍の著名な先生方ですので、十分楽しんでいただける半日になると思います。奮ってご参加下さい。

プログラム

13:30- スメルハラスメントにならないために～体臭ケアのコツ～(マンガム) 椿原 操
14:20- 赤ちゃん医療の最前線(日大医) 森岡 一朗
15:20- 人の動きを科学した最新の健康管理(アシックス) 原野 健一
16:10- 宮沢賢治の文学と化学の世界(京都薬科大名誉) 桜井 弘

参加費：無料

申込方法：事前申込不要。直接会場にお越し下さい。

問合せ先：日本化学会 企画部 年会係

電話(03)3292-6163

E-mail: nenkai@chemistry.or.jp

目指せ未来の科学者 ～小学生向け「実験教室」

主催：日本化学会 第99春季年会実行委員会
協力：日本化学会 近畿支部 化学教育協議会
日時：3月17日(日)
会場：甲南大学 岡本キャンパス 北校舎7号館4階 機能分子化学実験室

小学生を対象とした実験教室を開催いたします。

プログラム

実施全5回 (1)10:00- (2)11:00- (3)13:00- (4)14:00- (5)15:00-
(実施時間は約50分) ※詳細はWEB (<http://www.csj.jp/nenkai/99haru/5-2.html>) をご覧下さい。

参加費：無料

対象：小学生

申込方法：事前申込制(先着順)。WEBの申込フォームよりお申込み下さい。

URL: <http://www.csj.jp/nenkai/99haru/5-2.html>

問合せ先：日本化学会 企画部 年会係

電話(03)3292-6163

E-mail: nenkai@chemistry.or.jp

なぜナニ化学クイズショー

主催：日本化学会 第99春季年会実行委員会

日時：3月17日(日)

会場：甲南大学 岡本キャンパス 北校舎7号館1階 サイエンス・ラーニングコモンズ

小学生を対象としたクイズショーを開催いたします。

プログラム

実施全3回 (1)11:10-11:55 (2)13:00-13:45 (3)14:10-14:55

※詳細はWEB (<http://www.csj.jp/nenkai/99haru/5-2.html>) をご覧下さい。

参加費：無料

対象：小学生

申込方法：事前申込制(先着順)。WEBの申込フォームよりお申込み下さい。

URL: <http://www.csj.jp/nenkai/99haru/5-2.html>

問合せ先：日本化学会 企画部 年会係

電話(03)3292-6163

E-mail: nenkai@chemistry.or.jp

付設展示会

主催：日本化学会

協力：(株)化学工業日報社

後援：一般社団法人日本科学機器協会・一般社団法人日本分析機器工業会・日本薬科機器協会・一般社団法人日本試薬協会

日時：3月16日(土)～18日(月) 10時～17時

会場：講堂兼体育館

参加費：無料

出展社：(2月5日現在)

(株)アイシス, 朝日分光(株), (株)朝日ラボ交易, アヅマックス(株), (株)アロマビット, (株)アントンパール・ジャパン, (株)イーシーフロンティア, (株)石井理化機器製作所, Wavefunction, Inc., HPCシステムズ(株), ACS Publications, (株)エリカ オプティカル, エルゼビア・ジャパン(株), 大塚電子(株), オプトシリウス(株), (株)化学工業日報社, 化学情報協会, (株)化学同人, 関東化学(株), 国立大学法人京都大学, 京都大学化学研究所スーパーコンピュータシステム, (有)桐山製作所, (株)クラレ, (株)グローブボックス・ジャパン, (株)ケー・エヌ・エフ・ジャパン, コーニングインターナショナル(株), コンフレックス(株), 一般財団法人材料科学技術振興財団, 三共出版(株), CEM Japan(株), CAS, シーシーエス(株), 重松貿易(株), システム・インスツルメンツ(株), (株)システムハウス・サンライズ, (株)システムプラス/Mestrelab Research S. L., 柴田科学(株), ジャパンハイテック(株), シュプリンガー・ネイチャー, シュレーディングー(株), 湘南丸八エステック(株), (株)神鋼環境ソリューション, (株)セルシステム, (株)ダイセル, 田中貴金属グループ, (株)DFC, (株)デジタルデータマネジメント, Taylor&Francis Group, (株)東京インスツルメンツ, (株)東京化学同

人、東京化成工業(株)、東京理科器械(株)、(株)TOGA、(株)ナカムラ理化、中山商事(株)、日本製紙クレシア(株)、公益社団法人日本化学会 学術情報部、公益社団法人日本技術士会 化学部会、一般社団法人日本試薬協会、日本電子(株)、日本ビュッヒ(株)、日本分光(株)、日本分析工業(株)、(株)パーキンエルマー ジャパン、パーソルテンプスタッフ(株)、バイオタージ・ジャパン(株)、(株)バキューブランド サイエントフィック ジャパン、浜松ホトニクス(株)、ハリオサイエンス(株)、ビー・エー・エス(株)、富士シリシア化学(株)、富士通(株)、ブルカージャパン(株)、丸善出版(株)、丸善雄松堂(株)、メトラー・トレド(株)、(株)モルシス、文部科学省ナノテクノロジープラットフォーム、山善(株)、(株)UNICO、(株)ユニソク、(株)ライトストーン、ラサ工業(株)、(株)リガク、(株)リバネス、Royal Society of Chemistry、(株)ワールドインテック R&D 事業部、(株)ワイエムシー、ワイリー・ジャパン(株)、渡辺化学工業(株)

懇親会

日時：3月17日(日) 18時~20時
会場：甲南大学 岡本キャンパス iCommons 内 Hirao Dining Hall North

今回の懇親会では世代を超えて各界各層の懇談の場とするべくより実質的な企画となっております。先生方におかれましては学生の参加費は低く抑えておりますので、ぜひお誘い合わせの上ご参加いただけますと幸いです。

参加費：(当日) 一般6,000円、学生2,000円
申込方法：年会会場内の総合受付にてお申し込み下さい。※懇親会のみ参加も可能です。
問合せ先：日本化学会 企画部 年会係
電話(03)3292-6163
E-mail: nenkai@chemistry.or.jp

ATP 交流会

日時：3月16日(土) 17時40分~19時10分
会場：甲南大学 岡本キャンパス5号館1階 カフェパンセ

気軽に立ち寄れる出会いと交流の場を、春季年会参加者の皆様に提供します。ATP セッションの講師やオーガナイザーも参加し、産官学の皆様が face-to-face で交流できる貴重な機会です。アルコール、ソフトドリンク、軽食とともに、素敵なプレゼント抽選会などお楽しみも盛り沢山! 是非お誘い合わせて ATP 交流会へお立ち寄り下さい。ATP ポスター講演者・学生は参加費無料です!!

参加費：ATP ポスター講演者、学生無料。一般1,000円
申込方法：年会参加者はどなたでも参加できます。事前申込は要りませんので、直接会場へお越し下さい。
問合せ先：日本化学会 企画部 白石、河瀬
電話(03)3292-6163
E-mail: sangaku@chemistry.or.jp

Chem-Station イブニングミキサー

日時：3月18日(月) 18時~20時
会場：甲南大学 岡本キャンパス iCommons 内 Hirao Dining Hall North

学生や博士研究員を中心とする若手研究者や留学生の方に交流の場を Chem-Station より提供いたします。※詳細は WEB (<http://www.chem-station.com>) をご覧下さい。

参加費：無料 (※飲物は参加者が購入するスタイル)
申込方法：年会参加者はどなたでも参加できます。事前申込は要りませんので、直接会場へお越し下さい。
問合せ先：日本化学会 企画部 年会係
電話(03)3292-6163
E-mail: nenkai@chemistry.or.jp

統合1細胞解析に向けた革新的 バイオイメージングと技術の開発 JST さきがけ「1細胞解析」領域、 第4回成果報告会 —2期生(平成27年度採択)

主催：国立研究開発法人科学技術振興機構
日時：3月17日(日) 9時30分~16時30分
会場：S3会場(1号館4階142教室)

平成26年10月に発足したJST-さきがけ「1細胞解析」研究領域では、細胞の表現型・機能・個性やネットワークを1細胞レベルで定量的・網羅的に極限の精度と分解能で解析するための革新的基盤技術の創出を目指し唯一無二の方法論・ツール・装置開発に挑戦する若手研究者を幅広い分野から結集して研究を推進してきました。

第4回になる本成果報告会では、平成27年度採択のさきがけ研究者の中から8名の研究者が、さきがけプログラムの中で取り組んだ革新的なBioimagingと統合1細胞解析技術の開発とその生物学研究への展開についてわかりやすく紹介します。

また、領域アドバイザーの馬場嘉信先生(名古屋大学大学院工学研究科)の特別講演「ナノバイオデバイスとAIによる単一細胞解析と次世代ヘルスケア」を予定しています。

プログラム

09:30- Opening Remarks (京大院工) 浜地 格 研究総括
Session 1: 1細胞解析イメージング技術の最先端
座長: 秋吉 一成 領域AD (京大院工)
09:40- 組織3D染色による細胞の網羅的解析技術の開発
(東大院医) 洲崎 悦生
10:15- 摂動と計測による個体のエネルギーフローの1細胞分解能解析 (阪大蛋白研) 鈴木 団
10:50- 生細胞膜分子動態を観る極限時空間分解能 AFM の創成 (阪大院基礎工) 山下 隼人
11:25- 細胞膜分子動態1分子解析による細胞の個性の解説 (JST さきがけ) 坂内 博子
12:00- 休憩
特別講演:
座長: 浜地 格 研究総括 (京大院工)
13:00- ナノバイオデバイスとAIによる単一細胞解析と次世代ヘルスケア (名大院工) 馬場 嘉信
Session 2: 1細胞 Omics 解析のフロンティア
座長: 島本 啓子 領域AD (サントリー生命科学財団)
13:50- 単一細胞プロテオミクスが拓く細胞証分析 (国立循環器病センター) 若林 真樹
14:25- 1細胞内多階層オミックス動態の連関性 (理研 BDR) 谷口 雄一
15:00- 休憩
Session 3: 新規イメージング技術の生体解析への展開
座長: 小澤 岳昌 領域AD (東大院理)
15:10- がん幹細胞の生物学的機能を解明する1細胞解析技術の創製 (阪大院工) 松崎 典弥
15:45- 流体による1細胞解析から1個体解析への応用 (理研 BDR) 猪股 秀彦
16:20- Closing Remarks (JST) 川口 哲

参加費：無料。日本化学会年会に参加登録されていない方も無料

で入場できます。

申込方法：当日入場も可ですが、事前登録者を優先します。下記サイトから申し込みをお願いいたします。

URL: <https://form.jst.go.jp/enquetes/SC-4>

問合せ先：国立研究開発法人 戦略研究推進部 ライフサイエンス G さきがけ1 細胞解析担当

〒102-0076 千代田区五番町7 K's 五番町

電話(03)3512-3524

E-mail: presto.single.cell@jst.go.jp

領域 URL: http://www.jst.go.jp/kisoken/presto/research_area/ongoing/1112066.html

CREST & さきがけ「超空間制御」 シンポジウム (研究成果報告会) ～超空間が拓く革新的機能と新素材～

主催：国立研究開発法人科学技術振興機構

日時：3月18日(月) 10時～16時45分

会場：S3会場 (1号館4階142教室)

平成25年秋にJST CREST さきがけ「超空間制御」研究領域がスタートして以来、合同シンポジウムも5回目を迎えます。本年度は、CREST 一期採択課題、さきがけ三期採択課題が最終年度を迎えます。過去のシンポジウムでは「超空間を舞台とする新しい化学」と題し、「超空間」を主役とした化学への可能性について講演を行ってきました。今回はより現実的になってきた革新的機能、素材を中心に分かり易く説明いたします。いずれも挑戦的でキラリと光る独創的な課題であり、重要な成果が生まれたものと思います。ご期待下さい。

プログラム

- 10:00- CREST 趣旨説明 (三菱ケミカル) 瀬戸山 亨
- 10:15- テーラーメイドナノ空間設計による高機能高分子材料の創製 (東大) 植村 卓史
- 10:40- 超イオン伝導パスを拓く階層構造による結晶相界面デザイン (信州大) 手嶋 勝弥
- 11:05- 極性基含有ポリプロピレン：触媒開発と樹脂設計 (東大) 野崎 京子
- 11:30- 精密分子ふるい機能の高度設計に基づく無機系高機能分離材料の創製 (早大) 松方 正彦
- 11:55- 休憩
- 13:00- さきがけ主旨説明 (早大) 黒田 一幸
- 13:05- デンドリマー超空間によるクラスター形状誘導と機能創出 (東工大) 今岡 享稔
- 13:20- ゼオライト場を利用した既存金属の新奇電子状態の創出 (名大) 織田 晃
- 13:35- 金属ナノ粒子と多孔性金属錯体のハイブリット化による革新的機能の創出 (京大) 小林 浩和
- 13:50- ナノ空間内でのトポケミカル反応による構造制御と単分散高分子への展開 (Monash 大) 齋藤 敬
- 14:05- 液液界面・気液界面を利用した機能性低次元空間物質「ナノシート」の創製 (東大) 坂本 良太
- 14:20- 結晶ナノ空間の複合的な空間変換に基づく機能創成(お茶の水女子大) 三宅 亮介
- 14:35- 超巨大蛋白質会合体の内部空間を利用した結晶化デバイスの創出 (東北大) 田中 良和
- 14:50- 休憩
- 15:00- 自己集合が導き出す新規多面体群：物質合成と数学的考察 (京大) 藤田 大士
- 15:15- がん転移メカニズム解明にむけた人工超空間の創製 (名大) 安井 隆雄
- 15:30- トンネル空間制御による革新的金属間化合物系熱電材料の創製 (東北大) 山田 高広
- 15:45- 分子インプランテーションによる超分子エレクトロニクスの創成 (東大) 渡邊 峻一郎
- 16:00- 外場応答性トポロジカル欠陥ネットワークの構築と多安定性デバイスへの応用 (阪大) 吉田 浩之
- 16:15- ナノ空間制御によるキラリナノテンプレート創製と光メタマテリアルへの展開 (NIMS) 久保 祥一

16:30- 補空間次元を介した物質系のトポロジカル制御 (東北大) 藤田 伸尚

参加費：無料

申込方法：当日受付にて申込

問合せ先：国立研究開発法人科学技術振興機構 戦略研究推進部「超空間制御」研究領域 酒部, 小川

〒102-0076 東京都千代田区五番町7 K's 五番町

電話(03)3512-3525 FAX(03)3222-2066

E-mail: presto@jst.go.jp

Reaxys Prize Club シンポジウム in Japan 2019

主催：エルゼビア・ジャパン株式会社

日時：3月18日(月) 13時30分～16時30分

会場：S6会場 (5号館2階522教室)

Reaxys PhD Prize は、優れた化学博士課程の学生および新卒者の研究力を評価し、その研究成果とキャリアパスを広げるための支援を提供することによって、化学に革新をもたらす創造性の育成を目的として2010年から開催している国際アワードで、本年度9年目を迎えます。化学会にて恒例となりました「Reaxys Prize Club シンポジウム in Japan」では、Reaxys PhD Prize 受賞者とファイナリストからなる Reaxys Prize Club の若手研究者による研究発表をはじめ、著名な化学者からの基調講演を企画しております。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

プログラム

- 13:30- 開演挨拶 (エルゼビア リージョナルアカウントディレクター, APAC) 高久 雅楽子
 - 13:40- 基調講演 (早稲田大学理工学術院) 山口 潤一郎教授
 - 14:30- Reaxys Prize Club メンバー講演 1
未開拓ケミカルスペースに届く反応を目指して
Development of new reaction that reach unexplored chemical space (名古屋大学トランスフォーメティブ生命分子研究所) 村上 慧 特任准教授
 - 14:55- Reaxys Prize Club メンバー講演 2
メカノケミストリーが拓く反応開発
Reaction Development by Mechanochemistry (北海道大学大学院工学研究院有機元素化学研究室) 久保田 浩司 特任助教授
 - 15:20- Reaxys Prize Club メンバー講演 3
強還元で目指す新しい分子変換
Development of Molecular Transformations Based on Strong Reduction (京都大学大学院理学研究科化学専攻有機化学研究室) 野木 馨介 助教
 - 15:45- エルゼビアセッション
アクセプトされる英語論文の書き方 (エルゼビア・ジャパン株式会社 シニアソリューションコンサルタント) 高石 雅人
 - 16:25- 閉会挨拶
- ※各セッションの講演時間には、若干の調整が入る可能性があります。

参加費：無料

申込方法：申込不要(春季年会参加者)。直接会場にお越し下さい。

問合せ先：エルゼビア・ジャパン株式会社 リサーチソリューションズ マーケティング担当 堀, 吉永

〒106-0044 東京都港区東麻布1-9-15 東麻布1丁目ビル4階

電話(03)5561-5034 (代表) FAX(03)5561-0451

E-mail: jp.pr@elsevier.com

複雑系のための分子科学 —集まって立ち現れる分子機能の 理解と設計

主催：日本化学会 学術研究活性化委員会

日時：3月16日(土) 13時30分～17時30分
会場：S5会場(5号館2階521教室)

化学のフロンティアは大きな自由度を持ち複雑で高度な分子系が高い機能性を発揮する機構の解明と、新しい複雑分子系の創成へ向かっている。本テーマでは複雑分子系が機能を発揮する過程を分子理論、先端計測、合成化学研究者らによる議論を進めてきた。次世代に向けての重要なステップは、分子が集合体を形成することにより現れる分子機能を理解し新機能を設計することにある。そのために、分子間相互作用により複雑に変化する電子状態と分子構造の解明と制御が必要となる。そこで本セッションでは、分子集合体の機能に関して合成化学、分子理論、先端計測から研究を行っている研究者により、現状の理解と今後の展開を概観し、新機能創成への突破口を議論する。

プログラム

- 13:30- 趣旨説明一次世代に向けた分子集合体機能の理解と設計(京大) 林 重彦
- 13:40- 合成系から見た分子集合体の機能創成一光機能性材料(九大) 佐藤 治
- 14:00- 合成系から見た分子集合体の機能創成一生体材料(東大) 井上 圭一
- 14:20- 合成系から見た分子集合体の機能創成一超分子材料(金沢大) 酒田 陽子
- 14:40- 休憩
- 14:50- 計測系から見た分子集合体の機能計測一超高速分光(理研) 田原 太平
- 15:10- 計測系から見た分子集合体の機能計測一高速 AFM 計測(金沢大) 柴田 幹大
- 15:30- 計測系から見た分子集合体の機能計測一イオントラップ分光(東工大) 石内 俊一
- 15:50- 休憩
- 16:00- 理論系から見た分子集合体の機能設計一 π 共役分子系の電子状態(京大) 倉重 佑輝
- 16:20- 理論系から見た分子集合体の機能設計一タンパク質の機能ダイナミクス(理研) 松永 康佑
- 16:40- 理論系から見た分子集合体の機能設計一凝縮分子系の物性ダイナミクス(慶應大) 泰岡 顕治
- 17:00- 総合討論一次世代分子システムの設計・創成・計測 ディスカッションリーダー(京大) 林 重彦

参加費：無料(希望者には調査報告書を1,000円で配布)

申込方法：事前申込不要。直接会場にお越し下さい。

問合せ先：日本化学会 企画部 徳橋

電話(03)3292-6163

E-mail: tokuhashi@chemistry.or.jp

第26回化学教育フォーラム 「探究活動をととした主体性の育成」

主催：日本化学会 化学教育フォーラム企画小委員会

日時：3月16日(土) 13時30分～17時05分

会場：S6会場(5号館2階522教室)

平成29年、中学校の新学習指導要領が告示され、そして平成30年には高等学校の新学習指導要領が告示された。理科に関して言えば、中高共に内容項目としては大きな変更はないものの、探究の過程を重視する姿勢が明確に示された。旧来より、生徒の主体性を育むためには、目的を明確にした上で実験などを企画し、実験の結果をまとめ発表をするような活動が有効であると言われ、多くの教師たちによって積極的に実践されてきた。しかしながら、その成果を進学につなげるという点において、必ずしも十分ではなかったのではないかとと思われる。

学習指導要領に明確に示されたことを受けて、中高の現場では、探究活動を無理なく進め、その評価をどのようにしたら良いかを考え、また大学側としても、国大協から大学入試で生徒の主体性を適切に評価するように指示されていることもあり、何らかの方法で主体性を評価することを考える機会としたい。

プログラム

(13:30～13:45)

- 1. 開会の挨拶：教育・普及部門 部門長 久新 莊一郎
- 2. 趣旨説明(13:45～15:45) 講演時間 各25分
- 3. 国立教育政策研究所教育課程 調査官 野内 頼一
- 4. 東京大学理学系研究科 教授 西原 寛
- 5. 京都市立堀川高等学校 調整中
- 6. 開成学園中学高等学校 教諭 小松 寛(16:05～17:05)
- 7. パネルディスカッション
- 8. 閉会の挨拶

参加費：無料

申込方法：事前申込不要。直接会場にお越し下さい。

問合せ先：日本化学会 企画部 大倉

電話(03)3292-6164

E-mail: ohkura@chemistry.or.jp

第13回化学遺産市民公開講座

主催：日本化学会化学遺産委員会・化学史学会

共催：日本化学工業協会

日時：3月17日(日) 9時～12時30分

会場：S5会場(5号館2階521教室)

化学遺産委員会では、平成21年度から化学関連の学術あるいは技術遺産の中で特に歴史的に高い価値を有する貴重な史料を認定する『化学遺産認定制度』を開始し、これまでに9回46件を認定・顕彰した。平成30年度も前年度同様に化学遺産認定候補を一般市民・会員諸氏より公募するとともに、委員会でも認定候補として相応しいものを選定し、対象候補19件の調査・検証作業を行った。今回の市民講座では、特別講演1件とともに本年度第10回化学遺産として認定予定のものの具体的な内容をわかりやすく紹介する。

プログラム

座長兼総司会(横国大名譽) 伊藤 卓

09:00- 開会挨拶(化学遺産委員会委員長/京大名譽) 植村 榮

09:10- (No.047) 学習院とドラフトチャンパー(学習院大) 秋山 隆彦

09:40- (No.048) 機器分析の黎明(電通大名譽) 中川直哉

10:10- (No.049) 日本の近代化を支えてきた理化学教育と新技術への挑戦(鳥津製作所) 山内 幹雄

10:40- (No.050) ハンク紡糸法による旭化成ベンベルグの歩み(旭化成) 前原 隆玄

〈休憩10分〉

11:20- (特別講演)「アメリカ帰りのセルロイド人形」—化学遺産認定の取り結ぶ縁—(元ダイセル) 吉兼 正能

12:10- 閉会挨拶(横国大名譽) 伊藤 卓

参加費：無料。希望者には別途資料有料配布(予価1,000円)

申込方法：事前申込不要。直接会場にお越し下さい。

問合せ先：日本化学会 企画部 河瀬、飛渡

電話(03)3292-6163

E-mail: chemarch@chemistry.or.jp

URL: <http://www.chemistry.or.jp/event/calendar/2018/12/post-12-29.html>

国際周期表年2019 特別企画： 自然も暮らしもすべて 元素でできている！

主催：日本化学会 戦略企画委員会

共催：日本物理学会

日時：3月17日(日) 9時～12時25分
会場：S8会場(8号館1階813教室)

2019年はメンデレーエフが元素の周期律を発表して150周年に当たることを記念し、また2016年11月28日に113番ニホニウムを含む118番までの4元素名が確定し、周期表第7周期までが完成したことを記念して、UNESCOと国連が国際周期表年2019(International Year of the Periodic Table of Chemical Elements 2019; IYPT2019)を制定した。我が国での記念事業等を実施する母体として日本化学会内に国際周期表年実行委員会(委員長、玉尾皓平)が設置された。この委員会の議論を踏まえて、戦略企画委員会の特別企画として本イベントを提案する。

本企画は、元素周期表が自然科学者にとっての共通基盤財産であることの再認識に加えて、元素の成り立ちや科学技術・一般社会での元素の役割などの情報を基に、「自然も暮らしもすべて元素でできている」ことを広く一般社会にも周知する取り組みを会員と共有することを目的としたい。

日本物理学会と連携しつつ、二元中継方式で実施する内容となっている。

プログラム

- 09:00- 日本化学会会長挨拶(分子研)川合 眞紀
09:10- *1 日本物理学会会長挨拶(阪大院理)川村 光
09:20- IYPT2019紹介(九大院理)酒井 健
09:30- *1 基調講演：ニホニウム発見物語(九大院理)森田 浩介
10:00- *1 中性子星連星合体における重元素合成(Max Planck Institute)和南城 伸也
10:25- 休憩(15分間)
10:40- メンデレーエフの元素周期表誕生150年：世界を変えた周期表(京都薬科大名誉)桜井 弘
11:10- 『元素と周期表』のひろがるチカラ(化学同人)梶井 文子
11:35- *1 すべての元素を超電導に(阪大基礎セ)清水 克哉
12:00- すべての元素を活用する元素戦略研究プロジェクト(豊田理研)玉尾 皓平
※1の講演は、日本物理学会第74回年次大会(九州大学伊都キャンパス)講演会場からライブ中継

参加費：無料

申込方法：事前申込不要。直接会場にお越し下さい。

問合せ先：日本化学会 総務部 石川、企画部 竹内
電話(03)3292-6161

E-mail: info@chemistry.or.jp

ケミカルレコード・レクチャー 2019

主催：日本化学会・Wiley-VCH

日時：3月18日(月) 10時30分～11時30分

会場：S4会場(5号館1階511教室)

日本の化学関係8学協会の雑誌として刊行した総合論文誌“The Chemical Record”は、2011年より日本化学会の雑誌としてリニューアルした。Wiley-VCHとの本格的な提携によりインパクト・ファクターも着実に向上している。今回は丸岡編集委員長を講師としてTCR Lectureを開催する。

プログラム

- 10:30- New Radical Reactions in Selective Organic Synthesis(京大, The Chemical Record 編集委員長)丸岡 啓二

参加費：無料

申込方法：事前申込不要。直接会場にお越し下さい。

問合せ先：日本化学会 学術情報部 中村
電話(03)3292-6165

E-mail: nakamura@chemistry.or.jp

論説フォーラム、徹底討論、 「大学革命—今やらなければ—」

主催：日本化学会 論説委員会

日時：3月18日(月) 9時30分～12時

会場：S5会場(5号館2階521教室)

我が国の科学技術力、論文の質・量の低下に歯止めがかからない。研究と人材育成の中核を担う大学は観念的な目標を述べる時期は過ぎた。大学人・研究者自らがアクションプランをたて、大学に革命を起こすべき時が到来していると認識すべきである。国際競争力を取り戻すためには何が必要か。海外の大学経験の豊富な研究者、大学運営に携わる研究者、産業界の経営陣も交えての徹底討論「大学革命—今やらなければ—」を2年越しで開催する。各大学が独自の改革を始めるきっかけとしたい。

プログラム

- 座長：菅 裕明(東大)
09:30- 挨拶(豊田理研, 論説委員会委員長)玉尾 皓平
09:35- セッションI：大学の経営革命
「大学革命のすすめ」(仮)(中部大・化学会前会長)山本 尚
パネルディスカッション
パネラー：橋本 和仁(総合科学技術イノベーション会議議員・
物材機構理事長), 菅 誠治(岡山大・副学長), 相田 美砂子
(広島大・副学長), 井上 茂義(ミュンヘン工大)
11:00- セッションII：大学院生の就活革命
「これでいいのか? 化学系大学院生の就職・採用活動」(東大・
工学系研究科長)大久保 達也
パネルディスカッション
パネラー：北川 宏(京大), 上杉 志成(京大), 浦田 尚男(三
菱ケミカル), 加藤 剛(トウルース大)

参加費：無料

申込方法：事前申込不要。直接会場にお越し下さい。

問合せ先：日本化学会 学術情報部 中村
電話(03)3292-6165

E-mail: nakamura@chemistry.or.jp

大学生・大学院生のための キャリアパスを考える相談会 (ランチョンセミナー) ～企業で研究者になるために必要な ことは? 今の研究をどう活かす?～

主催：日本化学会 産学交流委員会 人材交流小委員会

日時：3月18日(月) 11時30分～13時

会場：S7会場(5号館2階525教室)

科学技術で生き残りを図る日本においては、科学技術を推進する原動力、イノベーションの担い手として、アカデミアのみならず産業界においても高度な知識と研究開発力を持った人材が、変革の時代を迎える今こそ必要です。本企画は、「企業で研究者になるために必要なことは? 今の研究をどう活かす?」を知るため、企業の研究者・研究管理者に質問し答えてもらうことで、あなたのキャリアパスを考えるランチョン(食事付き)形式の相談会です。

対象者：大学生、大学院生でキャリアパスについて企業の研究者と相談したい方

プログラム

- 11:30- 話題提供『企業が求める研究者とは?』(東レ)長瀬 公一
11:45- 企業研究者・研究管理者紹介
■企業研究管理者：長瀬 公一(東レ), 矢作 和行(花王), 秋葉 巖(出光興産), 味村 寛(日産自動車)

- 企業若手研究者：染谷 尚宏（ニコン）、武内 良介（BASF ジャパン）、前谷 臣治（ダイセル）、北野 祥平（カネカ）
 ■女性研究者・研究管理者：渡辺 訓江（ブリヂストン）、蒲池 晴美（昭和電工）、櫻庭 彩子（花王）、久野 美輝（日本触媒）
 12:00- ランチオングループディスカッション
 13:00- 閉会挨拶（花王、人材交流小委員会副委員長）矢作 和行

参加費：無料（年会登録者に限る）

申込方法：Web よりお申込み下さい。（先着 50 名）

URL: <https://event.csj.jp/form/view.php?id=180506>

席数に余裕がある場合には、当日の朝10時より総合受付付近にて整理券を配布する予定です。

問合せ先：日本化学会 企画部 河瀬 白石

電話(03)3292-6163

E-mail: sangaku@chemistry.or.jp

聞いてみよう！化学系人気企業・しごとの現場のホントの話（男女共同参画シンポジウム）

主催：日本化学会男女共同参画推進委員会

日時：3月18日(月) 15時～17時20分

会場：S5 会場（5号館2階521教室）

これから就職活動をはじめめる学生や、これからのキャリアを模索している若手研究者のみなさんに、産官学で活躍されている若手～中堅の研究者・技術者から、これまでの研究・技術開発や生産現場での取り組みについてご紹介いただきます。また、結婚・出産などのライフイベントや転職などのキャリアに対する考え・体験、将来のキャリアパスについてもお話いただく予定です。

様々な分野で活躍されている研究者・技術者のこれまでの取り組みや考えを知ることは、これから就職活動がはじまる学生や、これから自分自身で研究を展開していこうとしている若手研究者のみなさんにとって、何よりの参考となるのではないかと思いますので、ぜひご参加下さい。

プログラム

15:00- 趣旨説明・開会挨拶

15:05- 女性化学者奨励賞受賞者の紹介

15:20- 第1部 化学系企業なしごとの現場

化学と化粧品と私（日本メナード化粧品）大西 朋子

企業での技術系キャリアデザインとライフデザイン（味の素）

増澤 陽子

研究開発の魅力とワークバランスについて～仕事と家庭の両立

への取り組み～（三菱ケミカル）前原 桂子

16:25- 第2部 化学系企業の取り組み

ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ事業における産学

連携事例の紹介（DNP）大野 浩平

パネルディスカッション

いろいろな疑問点をこの機会にぜひ質問して下さい。

17:15- 閉会挨拶

17:30-19:00 懇親会 無料（事前予約不要・学生歓迎）

会場 Hirao Dining Hall(生協食堂1階)CAFFÉ & BAR PRONTO

講師の皆様から直接アドバイスをいただくチャンスです！ 交流会のみの参加も大歓迎です。

参加費：無料

申込方法：事前申込不要。直接会場にお越し下さい。

問合せ先：日本化学会 企画部 徳橋、竹内

電話(03)3292-6163

E-mail: danjo@chemistry.or.jp

英語講演へのファーストステップ

主催：日本化学会 国際交流委員会

日時：3月18日(月) 13時30分～15時30分

会場：S4 会場（5号館1階511教室）

本企画では、英語講演に挑戦しようと思っている方、英語で講演を行っているが、棒読みになってしまう、という方を対象に、講演を行う際の準備の方法や原稿を声に出すときのコツを伝授いたします。自信をもって英語プレゼンテーションに挑戦できるようになることが目標です。講師に、科学英語のプレゼンテーションや論文作成の本を多数執筆され、豊富な講演実績をお持ちの野口ジュディー津多江先生（神戸学院大学名誉教授）と発音指導を専門とする大和知史先生（神戸大学 大学教育推進機構国際コミュニケーションセンター教授）をお迎えし、講演を行う際のポイントやアブストラクトの書き方などについてご講演いただきます。

※講演は日本語にて行われます。

プログラム

13:30- 魅力的なプレゼンテーションのためのはじめの一步-上達のコツはプロソディにあり-(神戸大) 大和 知史

14:20- 理系英語の口頭プレゼンテーションとアブストラクトの書き方(神戸学院大) 野口 ジュディー 津多江

参加費：無料

申込方法：事前申込不要。直接会場にお越し下さい。

問合せ先：日本化学会 企画部 徳橋

電話(03)3292-6163

E-mail: tokuhashi@chemistry.or.jp

CSJ ジャーナルフォーラム「ジャーナルの将来像を考える」

主催：日本化学会 ジャーナル戦略委員会

日時：3月18日(月) 15時30分～17時40分

会場：S4 会場（5号館1階511教室）

日本化学会が刊行するジャーナル2誌 Bulletin of the Chemical Society of Japan (BCSJ) と Chemistry Letters (CL) は、2013年より科研費の補助を受け、国際的なビジビリティの向上のため様々な取り組みを行い、掲載論文の質の向上、読者の激増などの成果を挙げている。本フォーラムでは、前半で化学会ジャーナルの取り組みを紹介し、後半では著名な先生方を講師としてお招きして、ジャーナルの将来像についてご紹介いただく。研究者や学生の皆様に、研究を発表する場を考えるのにお役立ていただきたい。

プログラム

15:30- はじめに（名大、学術情報部門長）八島 栄次

15:40- CSJ ジャーナルの状況について（東大、CL 編集委員長）塩谷 光彦

16:10- 日本発化学ジャーナルの行く末は？（早大）山口 潤一郎

16:40- 化学系プレプリント（ChemRxiv）の活用法を考える（東大）生長 幸之助

17:10- 質疑応答、意見交換

17:30- おわりに（物材機構、BCSJ 編集委員長）有賀 克彦

参加費：無料

申込方法：事前申込不要。直接会場にお越し下さい。

問合せ先：日本化学会 学術情報部 中村、中谷

電話(03)3292-6165

E-mail: nakamura@chemistry.or.jp